

こんにちは！
東山田地区社会福祉協議会役員会です。

現在、役員会は会長・副会長2名・事務局長・会計・区社会福祉協議会担当者・ケアプラザ担当者の計7名で構成されています。概ね、月1回東山田中学校コミュニティハウスの1室をお借りして2時間ほど話し合いをしています。募金活動、地区懇談会、福祉関係団体連絡会、広報に関することなどを中心に話し合いを行い、活動を企画運営実施しています。今、みんなで確認をしたいと思っていることは、「東山田地区には福祉活動を実施している人や会があるんだろう」ということです。まだまだ知らないことがたくさんあります。ぜひ、活動を教えていただきみんなで福祉の輪を広げることができたらと思っています。活動をお知らせください。また、地区社会福祉協議会にご興味のある方、連絡をお待ちしています。

皆さんの声をきかせてください

東山田地区では、町内会での福祉活動以外にも有志が集まって福祉活動をされている方もいらっしゃると思います。また、「こんな活動があったらいいなあ」「やってみたいことはあるけど仲間がいなくてできないなあ」「仲間を増やしたいなあ」など、いろいろな思いを持っていらっしゃる方もいるのではないかと思います。ぜひ、皆さんの声をお聞かせください。東山田地区社協ではいただいた皆さんの声をもとに「地域と共にある地区社協」として今後の活動を考えていきたいと思っています。小さなご意見から大きなご意見までお待ちしております。連絡先：☎592-5975東山田地域ケアプラザ 北見まで。



ご協力に感謝します。

令和5年の賛助会費は10月15日時点で811,100円集まりました。皆様、ご協力をありがとうございます。地区社協の活動は集まった金額の半分と東山田連合町内会からの協力金をいただき運営しております。いただいたお金は各町内会が実施しているさわやか東山田事業の活動費、地域のボランティア団体の助成金等に充てられています。地域の福祉活動が充実することで「東山田は誰もが住みやすい町」となるようにこれからも活動を続けてまいります。引き続きよろしく願いいたします。

高齢者の生活のお手伝い有償ボランティア募集中
生き生きクラブ



編集後記

今年度、地区社協の役員会に区社会福祉協議会の入江さんと一緒に参加させていただいています。今回はこの「地区社協だより」の作成を担当させていただきました。参加してみて気づいたことは「思ったよりたくさんの活動をされているんだなあ、しかもこんなに少人数で」ということと「楽しい」ということです。少人数で年間を通して様々な活動をしているので「役員にならなくても各活動ごと、企画運営して下さる方が増えるといいなあ。そしたらもっと楽しく幅広い活動になるかも。一人一人の負担も減るしなあ」と思ったりもしています。東山田地区社協の取り組みは災害時の助け合いにもつながるし、子育て中のお母さんも高齢の方々も、子どもも、、、つまり地域に住むどなたもが「東山田で生活してよかった」につながる活動だと思っています。多くの方に関心を持っていただきたいです。地区社協の活動にかかわらせていただいて幸せを感じている東山田地域ケアプラザの堂前（どうぜん）です。

社会福祉協議会

東山田地区社協だより

東山田連合町内会
会長 小泉 武
発行所 東山田地区社会福祉協議会
会長 中澤 宏

福祉関係団体等連絡会が開催されました。

12月17日（日）東山田地域ケアプラザに、東山田地区で福祉活動を実施している団体の代表者の方に集まっただき東山田地区福祉関係団体等連絡会を開催しました。今回は、これまでと形を変えて「今、地域で何が起っていてそのことについて私たちに何ができるか」についてグループでワイワイガヤガヤ話し合いをしました。テーマは「子ども」です。リングリンク代表であり横浜市主任児童委員代表でもいらっしゃる木村博子さんにお越しいただき、お話をさせていただきました。中には衝撃的なお話もあり思わず涙が出そうな内容もありました。自分が当たり前と思うことが人にとっては当たり前ではないことや「助けてください」と声を出せないまま生活している方もいらっしゃるということ、いじめ、不登校、貧困など実際にこの地域で起っていることを知ることもできました。自分に何ができる？何をやっている？挨拶、見守り、子ども会の検討、子ども農園、伝承の会、子ども食堂、、、etc 課題は？担い手、場所、お金、、、たくさんの意見が出ました。その中で参加者の共通の認識として「日頃からのつながりの大切さ」があげられました。すぐにできることとしては「あいさつ」でしょうか。木村さんが最後に「このワークは子どものことだけではない。実は高齢者についても同じような意見が出るんですよ」とおっしゃったことがとても印象的でした。



助成金をいただいて楽しく活動しています

私たち、「ケアプラ談話室」は、高齢者のためのお茶飲み会を実施しています。毎月第1・3木曜に東山田地域ケアプラザに集まって楽しく過ごしています。地区社協さんから頂いている助成金を活用して、歌の先生を招いて大きな声で歌を唄ったりフラメンコを鑑賞したり、時には、活動時間を拡大してお食事会もしています。お食事はもちろん、ボランティアの手作りです。心がこもっていて本当においしいと評判です。節分には鬼も来ます。桜の時期は会場に桜が咲きます。クリスマスにはサンタクロースも来ます。みんなで、楽しくおしゃべりしたり体操したり歌ったり活動はバラエティに富んでいます。高齢者の集まりですから「お楽しみ脳トレ」も毎回行っています。笑いながら脳トレできるなんて最高です。これからもいただいている助成金は、集うみんなの健康と幸せのために大切にに使わせていただきたいと思います。活動にご興味のある方は、ケアプラザまでご連絡をお待ちしています。☎592-5975東山田地域ケアプラザ 北見まで



東山田地区「地区懇談会」を実施しました。

地区懇談会は、年に一度地域の課題や取り組みについて町内会を中心にPTAの方や民生委員さんに集まっていただき、みんなで意見交換する場です。今年度の地区懇談会は、**10月29日（日）**14時～16時に東山田地域ケアプラザの多目的ホールを会場に行いました。昨年度実施した懇談会を踏まえて「災害時に備えて、地域でできることについて考えよう」をテーマに昨年同様、駒澤大学社会科学部社会福祉学専攻川上富雄教授にお話をいただいた後、東山田地区に巨大ハリケーンがくることを想定して自分たちに何ができるかを町内会ごとに話し合いをしていただきました。話し合いも避難所HUGゲームを自分たちでオリジナル化したものを作成しゲーム感覚で楽しく実施していただくよう工夫しました。



No.1
二人三脚さん
【女13歳】 長女
知的障害。行ったことのない避難所は怖いと思っている。父親と離れたくない。

No.2 急傾斜さん 【女41歳】
世帯主、妻
妊娠8か月。切迫早産で昨日退院したばかり。自宅に車はなく、長い距離は歩けない。夫の転動に伴い越してきたばかりで周辺に身寄りや友人はいない。

No.6
孝行さん
【男40歳】
世帯主、父、母
両親をとっても大切にしており二人の世話を献身的に行っている。ただし、職場と家の往復で近所付き合いは全くない程度。孝行息子と評判。

No.11 豪雨さん 【男58歳】
世帯主、孫、孫
事情があって幼い孫（5歳と3歳）を二人預かっている。孫の母親（娘）はシングルマザーで朝から夜まで二子玉川駅近くで就労している。日頃は孫が熱を出しても電話はつながらない。男性は孫の世話に追われ近所の人と付き合いがない。隣の奥さんが時折、おかずを持ってくる。

	誰が何を									
	地域			行政関係				その他		
	町内会	防犯部長	福祉部長	民生・児童委員	PTA	東山田C.P	区社協	区役所	へき地防防団	

地域住民像を記入したカードが20枚あり、それをめくりながら、誰が何をできるかを考えます。

東山田 4丁目 版タイムライン

時刻	内容	担当	備考
2日 前日	大規模地震発生時の避難所開設準備	町内会	避難所開設準備
18:00	避難所開設準備	町内会	避難所開設準備
18:00	避難所開設準備	町内会	避難所開設準備



～皆さんの発表より～
時系列ごとで、様々な意見やアイデアが出ました。特に日頃からできそうなことの見解をピックアップしてみました。読者の方の中には新たな気づきや取り組みについて思いつく方もあると思います。地区社協、ケアプラザにご連絡ください。今後の参考にします。
○要援護者名簿を再確認しておく。○情報提供について町内会でライングループがあったらよいのではないか。○日頃からケアプラザなどが高齢者向けのスマホ講座やライン活用講座を実施したらどうか。○外国人の地域住民には言語の確認をしておく。交流の場を設ける。○避難所に役割がわかるピブスの準備をする。○無事ですタオルなどを準備する。○福祉サービスを利用している人の中には、人付き合いが不得手な人もあるので手紙等で避難場所等のお知らせをする。○全盲の方など避難に誘導が必要な方はケアマネ等と連携し避難場所への誘導者を確認しておく○障害者の特性やかかわり方の講座を区社協で実施してもらおう（全盲者の誘導の仕方や車いすの操作など）○地域の方に避難所の存在を伝えておく。○避難所のルールを知っておいてもらう（ペットと一緒に避難は出来るが一緒にいることはできない等）※ここにある掲載はほんの一部です。



完成！発表！！

